

陸上貨物取扱業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16~ 17	引越荷物搬入中、2階から3階に室外エアコン（10kg）を運んでいるとき、階段で足が滑り、右膝をぶつけて負傷した。	21	50 ~ 99
1	13~ 14	第一センター4階4Bピッキングエリアにてカートを使用し、ピッキング作業中前方にカートが停止していた為、後方を確認せずに後退したところ、後方から来たカートに追突された。	38	~ 999
2	14~15	当社車庫内にて、運転席に座り、助手席に置いてあった荷物を動かそうとした際、運転席の肘置き部分に左脇腹をぶつけ、負傷したものである。	46	1~ 9
3	10~11	倉庫2Fフロアから両手で荷物を（書類の束）抱えて1Fへ階段を降り始めたとき、上から2段目で足を踏み外し、倒れずに勢いよく下り踊り場正面の壁に激突して右顔面を強打し、右膝から倒れ床に強打した。	69	~ 299
3	14~15	工場内で製造ラインの清掃をしていたところ、ベルトコンベアの間に足を滑らせ、左足をベルトに打ちつけ負傷した。	31	10 ~ 29
3	14~15	倉庫内でピッキング済みの折りたたみコンテナをドーリーからパレットに積み替えている最中、走行してきたフォークリフトに接触し被災した。	41	100 ~ 299
3	13~14	当社車庫兼資材置場にて鉄骨の荷おろし中、鉄骨に軽く左手薬指がひっかかり負傷した。	55	1~ 9
		荷台で空パレットの整理をしている時に、パレット引っ掛け棒を使って移動しよう		

4	18～ 19	としたところ引っ掛け棒が外れて、その反動で体勢を崩し、空パレットに右ひざが 激突した。	51	1～ 9
4	10～ 11	大型車運転中、前方の大型車の前の乗用車が急に右折ウインカーを出し急停止した ため、前方大型車が急ブレーキをかけ、止まりきれず追突し腰を負傷した。	47	10 ～ 29
4	19～ 20	翌日配送の荷物を積み終え、運転席に戻ろうとトラック接車バースより地面に飛び 降りた際、落ちていた木片に右足が乗り、バランスを崩し足を捻った。	52	10 ～ 29
5	10～ 11	コンテナ荷捌き土場にて、コンテナ内に納められた荷物にロープを掛ける作業中、 ロープの掛かり具合を確かめるべく、力を込めてロープを引いたところ、ロープが 外れ勢いで転倒し、頭部を強打した。	62	10 ～ 29
5	0～1	被災者は、夜から翌朝までのシフトで、倉庫内のピッキング作業に従事していた。 棚の一番高い箇所の商品（片手で持てる程度の大きさで軽量）を取るために、踏み 台を使用してプラモデルをピックし、踏み台から降りるために右足を床に着いた際 に右足ふくらはぎに痛みを感じた。	59	300 ～ 499
5	19～ 20	宅配センター受付カウンターにおいて、宅急便で発送する商品を、お客様から受付 けて梱包場へ移動しようと商品をビニール袋にまとめるためにしゃがんだ時に、梱 包場出入口の柱の角に左膝をぶつけた。	44	100 ～ 299
5	13～ 14	材木の上に乗って作業をしていて地面に下りた際、下にあった材木の上に乗ってし まい、右足首を負傷した。	25	1～ 9
6	11～ 12	コンテナ修繕庫内で、本人は修繕コンテナの左下ヒンジ曲がりの修繕をするため に、治具をヒンジに挿入し、修繕を開始した。治具を挿入し、開戸合わせ目の部 分を何度か押した瞬間、治具が割れて抜け、その反動でバランスを崩して、右膝を フォーク車止めに強打し受傷した。	20	100 ～ 299
6	20～	自動搬送ローラーのステップを渡ろうとした際、折り畳み式コンテナがステップの 脇に置いてあり、それを降りながらかわそうとした。その際、片手で折り畳み式 コンテナ、もう片方の手で手摺を持ったところ、折り畳み式コンテナが崩れて、バ	50	100 ～

	21	ランスを崩し、右足で折り畳み式コンテナ投入用ラインローラーを踏みつけて捻ってしまい、受傷した。		299
7	11~12	車両をトラックスケールに乗せ計量終了した際に、サイドブレーキを引き忘れた状態でステップに乗り、連結作業を行い台車側のブレーキが解除され、車両が前方に動いたため慌てて飛び乗り、手でフットブレーキを押しサイドブレーキをかけ停車させた。この際右足踵を骨折した。	54	30 ~ 49
7	7~8	店舗配送を終了し、業務用EVホールから外に出る際、雨が降っていたので傘を取りに向かおうとしたところ、螺旋階段の下を通った際に頭をぶつけた。	47	100 ~ 299
7	15~16	格納ラック間の通路内にて、パレット商品から商品を取るため、次の箱に差し掛かったところ、商品を取った右手が滑り、左手首に当たった。	43	50 ~ 99
7	8~9	冷凍庫内での商品搬送中、商品を搭載したカゴ台車を別の部屋に移動させる作業を後ろ向きに行ったため、入口扉の開いているスペースが足りない事に気がつかず、扉と台車の間に右手を挟まれた。捻挫と診断される。	33	10 ~ 29
7	10~11	工場東側屋外でリーチリフトにて出荷作業中、出荷ドラムの保管場所へバックで移動し停止しようとしたところ、右後輪が路面のコンクリートの割れているところにはまり、左後輪（駆動輪）が空転し操作不能となり、とっさに後方のコンクリート壁に左足を出して止めようとしたが、間に合わず、リフト後方とコンクリート壁に左足を挟んでしまった。	39	10 ~ 29
7	11~12	当社倉庫内作業フロアでピッキング作業中にピッキングカートにぶつかり右腕・右ひじがはれた。	46	300 ~ 499
7	8~9	倉庫内で4輪カゴ車を運搬中、右足の小指を轆き、安全靴を履いていたが骨折した。カゴ車の重量は、積み荷と合わせて約100kgであった。	47	30 ~ 49
		倉庫内において、発送貨物の仕分、ロールBOXへの積込み作業中に、車両へ搭載す		

7	18～ 19	るためにロールBOXを移動していた際、ロールBOXの左側を押したときに力を入れ過ぎ、ロールBOXが遠心力により左側に移動した。ロールBOXを止めようと前方に回り込んだとき、ロールBOXのキャスター部と左足首が接触した。	22	50 ～ 99
7	16～ 17	資材置場にて、場内土砂整備に使用した重機をユニック車に積込み、荷台から降りる際にバランスを崩し、地上約1.5mの高さから飛び降りて着地した時、左足踵を強打し受傷した。	56	30 ～ 49
9	10～ 11	当該人は、営業所の施設敷地内で、トラック荷扱（トラックの荷台（高さ約70cm）に昇降して検査用の米を採取する作業）中に、トラックの荷台から降りる着地時に左足を骨折した。	44	1～ 9
9	15～ 16	被災者が中間点呼を終え、事務所から持ち場である降ろし場に戻ろうとコンベアを飛び越えた際、着地時に足を捻ってしまい右足首を骨折したものである。	23	100 ～ 299
9	23～ 24	エリアにて、CMPに積まれた奥側の貨物を取ろうと、CMPの奥側の貨物を平らにならす際に、不安定な体制だったため、手前の貨物の角が、右胸に体重が掛かった状態で接触し、激痛がはしった。	52	100 ～ 299
9	11～ 12	休憩後に作業場へ戻る途中、曲がり角にあったカーゴに気付かず、カーゴ上部角に眉間を打ちつけ負傷したものである。	27	30 ～ 49
9	8～9	本契約の試用期間（7000円/日）中、ドライバーの使用について見習い（ルート確認等）、荷主先でトラック荷台から飛び降りて踵を強打し、骨折した。	50	1～ 9
9	11～ 12	顧客納品先において、被災者はトラックのパワーゲート上でハンドリフトを操作中にバランスを崩し、地面へ飛び降りた。その際に右手を地面に付いた為、負傷したと本人から申告を受けたもの。現地での事象を目撃したものはいないが、本人より申告があり申請するものである。	45	100 ～ 299
10	12～ 13	倉庫内にてピッキング作業中、オリコンで左手小指を突き指し、骨折した。	62	100 ～ 299

10	20~ 21	トラックより荷下ろしをしたパレット貨物を一旦横並びに2枚仮置きをした。仮置きをしたパレットの移動をフォークリフトで行うため、向かって右側のパレットにエントリーした後に一旦後方に1メートル程移動した。その後、左隣の貨物に接触しないように右へ旋回しながら前進走行した際に、横から徒歩で出てきた被災者の右足首部分が、フォークリフト左後輪と接触し負傷したものである。	60	1~ 9
10	20~ 21	事務所側に近いローラー付近で荷引き作業中、ローラーの縁に右膝をぶつけて被災したもの。当日、本人から報告なく定時まで勤務した。被災者は翌日から欠勤し、弊社登録センターに勤務中に負傷したとの連絡があり詳細の聞き取りができたのが最近である。聞き取り後、事業場内で現認したものがないか確認したが、現認者は無し。	42	50 ~ 99
11	8~9	機材センター内ヤード現場から返送されてきた機材の荷降ろし作業中に被災作業はトラック荷台上に玉掛け作業員2名、地上に2名とクレーンオペレーター1名で行っていた。トラックには支柱（4m）が2個×2段、その上にH400×7mが2本積載されていた。支柱上でH400を玉掛けし、地切りしたところ、吊り荷が振れたため、避けるため支柱上（約3m）より飛び降りてしまった。	27	1~ 9
12	14~15	1階ケース商品仕分けエリア（C棟）内に於いて作業中、パレットから商品を運ぼうとしたところ、誤ってパレットの角に右足小指をぶつけ、転倒の際に負傷した。	57	50 ~ 99
12	11~12	倉庫内にてピッキング作業中、商品を膝を使って担ぎ上げようとしたところ、右膝の上部に商品が強く接触し打撲した。	38	100 ~ 299
12	13~14	手荷物仕分け場にて、受託手荷物の仕分け・コンテナへの積み付け作業を行っている際に、仕分け場にある段差（約17cm）より足を踏み外してしまい、側にあったコンテナに手をついた。当日は痛みもなかったため業務を続けたが、日増しに痛みが増し、痛み・しびれ・震えが出てきた。	20	100 ~ 299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html